| 科目名 | | | | | 授業形態 | | | 担当教員名 | | | | |
|----------|----|----|---|------|------|--|----------------------------|-------|--|------|----|----|
| 義肢装具学 | | | | 講義 | | | 大庭 潤平・嘉納 綾 鮫島 一雄・坂東 恵美子 | | | | | |
| 時間数(単位数) | | | | 授業回数 | | | 年次 | | | 開講時期 | | |
| | 30 | 時間 | (| 1 | 単位) | | 15 | 回 | | 2 | 年次 | 前期 |

授業の目的・概要

義手・義足・装具は作業療法にとって重要な分野であり、その知識と技術は患者、障害者の障害を軽減することに役立つ大切な 手段である。そのため義肢装具は障害者の機能および形態の代償・補填に重要な役割を持っている。 義肢装具に関する基礎知識を身につけ、各種疾患・障害に対する義肢装具の重要性を理解することを目的とする。

授業の到達目標

- 1.義手の種類・機能・適応を説明できる。
- 2. 義手のチェックアウト項目を説明できる。
- 3. 装具の種類・機能・適応を説明できる。
- 4. 福祉・保健制度の動向、技術革新についても理解できる。

授業計画

- 回内容
- 1 義手の総論【大庭】
- 上肢切断と義手【大庭】
- 3 義手の種類と構成部品【大庭】
- 4 義手の適合範囲とその対応【大庭】
- 5 義手の操作方法と指導方法【大庭】
- 6 先天性上肢欠損児に対する義手適応【大庭】
- 上肢装具総論
- 上肢装具各論①関節リウマチ
- 上肢装具各論②頚髄損傷
- 10 上肢装具各論③末梢神経損傷
- 11 上肢装具各論④脳卒中
- 12 上肢装具各論⑤その他
- 13 下肢装具・体幹装具について①
- 14 下肢装具・体幹装具について②
- 15 義足について

成績の評価法と基準

| 種別 | 割合 | 評価基準・その他備考 |
|------|-----|----------------------------|
| 定期試験 | 90% | |
| レポート | | |
| 小テスト | 10% | 授業終わりに下肢装具・体幹装具の確認テストを実施する |
| 平常点 | | |
| その他 | | |
| 自由記載 | | |

教科書

| 書名 | 著者・編集者名 | 出版社名 |
|------------------------|---------|-----------|
| 義肢装具と作業療法 - 評価から実践まで - | 大庭潤平 他 | 医歯薬出版株式会社 |
| | | |
| | | |
| | | |

自由記載

参考文献

| 書名 | 著者・編集者名 | 出版社名 |
|---------------|----------|-----------|
| 義肢装具のチェックポイント | 日本整形外科学会 | 医学書院 |
| 切断と義肢 | 澤村誠志 | 医歯薬出版株式会社 |

自由記載

備考

授業予定は前後することがある。